

令和7年度第5回仙台市男女共同参画推進審議会 議事録

日 時 令和8年1月28日(水) 10:00～11:30
会 場 エル・ソーラ仙台 大研修室
出席委員 田中真美会長、高浦康有副会長、相澤美香委員、角張康浩委員、加藤明子委員、
門脇佐知委員、今野純太郎委員、佐藤幸雄委員、四釜喜愛委員、光安理絵委員、
村山くみ委員、山田政彦委員、若生彩委員
欠席委員 高橋絵利子委員
事務局 市民局次長、市民局次長兼市民活躍推進部長、男女共同参画課長、
男女共同参画課主幹、男女共同参画課企画推進係長、男女共同参画課担当者
傍 聴 一般傍聴4名

次 第

1 開会

2 議題

仙台市の男女共同参画推進のための計画のあり方について(答申案)

3 閉会

1 開会

○男女共同参画課企画推進係長

- ・委員 14 名中、本日は 12 名が出席。（光安委員は、開会後に到着）
 - ・仙台市男女共同参画推進審議会規則第 5 条第 1 項の規定に基づき、会長が議長となる。
- 以降の進行は田中会長にお願いしたい。

(1) 会議の公開等について

○田中会長

- ・本日の審議会において、非公開とすべき案件はあるか。
（非公開案件なし・事務局）
- ・それでは本日の審議会は公開ということで良いか。
（異議なし）

(2) 議事録署名人の指定について

○田中会長

- ・議事録署名人については、出席者の中から 2 名を指名したい。今回は、角張委員、門脇委員にお願いしたい。
（角張委員、門脇委員 了承）

2 議題

仙台市の男女共同参画推進のための計画のあり方について（答申案）

○男女共同参画課長

- ・資料 1～3 に基づき説明

[意見・質疑応答等]

○高浦副会長

- ・資料 3 の 1 ページ目、項番 2 のデート DV に関して、答申案への反映で、表記を DV のみならず「DV・デート DV」に修正することについて、確かにデート DV という用語を強調させる意義はあると思うが、ただ、DV という言葉には定義上、デート DV も含まれるという建付けにプラン構成がなっているかと思い、おそらく基本目標 6 のタイトルも DV のみになると思われるので、目標のタイトルの方はデート DV が含まないのかという誤解を招きかねないということがあるし、そもそも DV というのは配偶者に対する暴力だけではなく、一般の恋人間でも起こりうるということをより理解してもらうためにも、あまり並列的な表現はとらずに、本文で記載されるとしたら「DV(デート DV を含む)」みたいな、そういった表現にされた方がいいのではないかと思った。

○男女共同参画課

- ・今回、デート DV というものを新たに追記した趣旨として、デート DV に関する取り組みも行っていくことを強調するために追加をした。
- ・タイトルについては、このまま、恋人間で行われるデート DV も含んだ取り組みとして、一体的に見せていくということで、本文中は DV とデート DV を併記する形で掲載をしたいと考えている。

○高浦副会長

- ・両方の言葉を出されるのはいいと思うが、並列関係だと DV とデート DV が別概念のように、かえって誤解される恐れがあるかと思ったので、「DV (デート DV を含む)」と提案した。本文なので多少文章が長くなっても違和感はないと思うし、また、両方の定義にかかるところでもあると思う。

○田中会長

- ・高浦副会長が提案しているのは、本文の出だしのところの定義を「デート DV を含む」という言葉にして、はっきり言ってしまえばよいのではないかということ。
- ・どこを変えるのかということところが、ちょっと分かりにくかったかなと思う。
- ・すべてを併記してしまうと、デート DV が強く出すぎるのではないか。もともとデート DV は DV の中に含まれるものではないか。
- ・モニタリング指標などの項目で、分けて出すべきものがあるのか。

○男女共同参画課

- ・本文中の成果目標等において、DV と書いているところは、あくまでも配偶者間、もしくはその配偶者に類するような関係性の方々に対する DV を載せているところもあり、デート DV が含まれていないというものもある。
- ・国の法律なども見ながら、DV にはデート DV を含まないという整理としており、DV とデート DV を明確に分けた形で整理していた。
- ・成果目標の対象者もそれぞれ異なるため、整理をさせていただきたい。

○今野委員

- ・資料 3 の 3 ページ目、項番 4 の性の多様性に関する成果目標について、LGBTQ の Q の定義がない、用語を知っていればいいというわけでもないというご意見があった。
- ・LGBTQ とは当事者の方のあり方を示すのに対し、SOGI というのは、資料にもあるが「人間の性を構成する要素であり、誰もが有しているもの」とあり、論点がちがうというか、あり方を示す言葉と概念を示す言葉で違うのかなと感じた。
- ・単純に SOGI という言葉を知っているか聞くことがよいのかと考えたが、どちらかという、SOGI がすべての人に関係する概念だということを知っているかという、少し踏み込んだ質問をする方が、性に対するありようの理解があるのかを知れるのではないかと思った。
- ・確かに LGBT を知っているかということだと、どうしても特別なものとして扱われるものになってしまうので、広い意味でとらえるためには SOGI を、それが誰に対しても関係する概念だということを組み込めるとよいのではないかと感じた。

○男女共同参画課

- ・成果目標の目標値を 20%としているが、これの根拠として、横浜市で令和 5 年度に性の多様性に関する意識調査を実施しており、それを参考に今回設定した。その中で、横浜市のデータによると、言葉も意味も分かっている方は 5%程度、言葉を知っているが意味は分からない方が 10%ということで、言葉の認知度自体が非常に低いところというふうに捉えている。
- ・概念というものの理解が必要であると考えているが、まず第一歩として、今回は言葉を知っている人の割合というのを第一段階として掲げていきたいというふうに考えている。

○田中会長

- ・現状がそうなっていることを踏まえ、まずは言葉からと思う。

○男女共同参画課長

- ・資料 4 に基づき説明

○田中会長

- ・困難を抱える「方」にするか「女性」にするか「女性等」にするかというところで、これまでも何度も審議会でも考えてきたが、今回改めて事務局にまとめていただいた考え方をみると、「方」とすると、全員、男女関係なくカバーできるというものになるが、「女性」とすると課題が解決されていないところをしっかりとやっていくということが明らかになってくると思う。今、事務局から提案のあった基本目標 4 に男性の部分に分けて入れていくということで、「女性等」としなくても対応できるのではないかと思った。ご意見を、ぜひお願いしたい。

[意見・質疑応答等]

○門脇委員

- ・事前にメールでご意見を差し上げていた。今回、参加した市民説明会と、その後いただいたパブリックコメントの一覧を拝見して、非常にこのテーマに対するご意見が多かったなど、改めて読んで考えさせられるところがあった。意見としては「困難を抱える方」でも、「困難を抱える女性等」でもなく、「困難を抱える女性」がよいのではないかというような意見もあったかと思う。
- ・私は今ご提案いただいたように、基本目標5は女性に関するものだけにして、女性以外を対象とする内容は基本目標4にした方がいいのではないかと、皆さんの意見や市民の方の意見を聞いて考えた。私も迷ったし、どちらがいいのかというのはなかなか難しいが、最後はどちらが理解してもらいやすいかというところの視点で整理されるといいのかなというふうに考えた。
- ・大きな理由としては、困難を抱える女性の支援に関する法律に基づく市町村基本計画の主たる部分になるということと、女性版骨太の方針にも法施行を踏まえて、困難を抱える女性一人一人のニーズに応じた支援を地域全体で包括的に行う体制の整備が強調されていたということもあったので、社会的、構造的な格差を是正して、人権を擁護するために明確にしなければいけないのかなと思ったところから、そのようにご意見をさせていただいた。
- ・資料4を読み、基本目標4と5に振り分けをしていただけてすごく明確になったと思う。あくまでも受け取り側の視点で考えられるといいのではないかと思った。

○四釜委員

- ・今の話を聞いて、どちらがいいのかいろいろ考え、男女共同参画推進のための計画のあり方「第1章 計画の策定にあたって」というところを読んでいたが、この後半の2段を読むと「職場における女性の健康支援と、働く場における様々な課題の解決に向けて、さらなる推進を図ることが求められています。」というふうに書いてある。いろいろ書いてあるが、まずは女性の方の支援を軸にしていこうというのが、当初の計画の策定の趣旨であるのかなと思っているので、私はやはり女性と男性とのを分けて、明記した方が分かりやすいのではないかなと思った。

○若生委員

- ・女性等とした時には、その中に男性や男女に分けられない性の方を含むというふうな認識であったと思うが、やはり問題の解決のためには、男性、女性というその人の持つ体の個性に合わせての対応がむしろ求められているのかなというふうに、改めて思った。
- ・男性、女性を分けて表記したことで、問題が明確化された、数値化されたと感じたので、私も女性の方の表記がよいと思った。

○山田委員

- ・かなりご苦労されてこの資料4を作られたのだなというのを感じた。
- ・初めて審議会や市民説明会に参加して、困難な状況に陥っている、声を上げることができない方々が数多くいらっしゃることを認識した。会場には女性の方が多かったと記憶しているが、会場に参加できない男性、声を上げられない男性というの、もしかすると見えないというところに一定数存在するのかなとも思った。
- ・資料4を拝見していて、いいなと思った反面、個人的なところ、できれば男性、女性という区別のない社会になってほしい、性別を意識しないで明示しなくてもいいような環境になればいいなと思う。

○田中会長

- ・この件に関しては、ずっと審議会でも、それが理想だから「方」にした方がいいのではないかということを考えていたが、市民説明会などでの意見を聴いて、女性の課題が解決していない、注力したほうがいいのかと。ただ、こう言いながらも「方」とすべきかどちらがいいだろうとずっと悩んでいたが、何をすべきか、ということが明らかになって、「女性」とすると分かりやすいのではないかと思った。

○村山委員

- ・会長がおっしゃったように、できれば「方」として、最終的には男性、女性問わず活躍できるというところを目指したいということが、これまで検討してきた「方」に含まれていて、これでいいのではないかと思ってきたが、やはり市民の方にこの計画に参加していただいて、市民の方の肌感覚として、まだ男性、女性というところでの大きな課題が残されているのだなというところを少し指摘されたと感じた。
- ・そういった意味では、いずれこの計画が進んでいく中で、やっぱり女性、男性という性がなくなるということを目指す上では、まだ女性、男性というところが必要なのだろうなということを感じたので、現状としては、男性、女性という表現も含めて、それぞれに合った対応策をしっかりとやっていくということで、女性とするのが現状なのかなと感じた。

○光安委員

- ・皆さんと同じで、女性にされるのがいいかなと思う。表題や切り分け方は与える影響が大きいのので、私も元々はその困難を抱える方の時に特段疑問を抱かずというか、むしろこの方がいいのではと思っていて、パブコメの数を見て、ああ、と思った。
- ・弁護士会から審議会に参加させていただいている何代か前の委員の方とも、この目標について議論というか、意見を頂戴した時に、これはずっと、特に対象を女性として、この計画の柱であったと。つまり、その他の貧困の問題など、多重困難の一つとして女性であることがゆえ、という性の問題がある。なので、まだ現時点で困難を抱える方としてしまうと、性の多様性やその他の観点からはいいが、いわゆる貧困対策やその困難の対策と曖昧になってしまう。この先はまたこの表題が変わっていくような世の中になっていくかもしれないが、男女共同参画という観点からは、やはり少なくともまだ現時点では女性であることというのが多重困難の一つの大きな要素を占めていて、その他の困難が相まっている現状からすると、しかも市でも取り組んでいた事業がある。
- ・この目標がもう達成されれば一番いいが、結論としては、今回新たに整理していただいた、女性とし男性を基本目標4に振り分けることによって、性の多様性の目標の部分など、その他のところとの矛盾は解消されていると思った。

○佐藤委員

- ・皆さんのご意見等も聞きながら、そうだなというふうに感じている。私はこの新たにまとめたいただいたところがいいのではないかと感じているし、やはり男性、女性という形の中で課題を解決していくのがよいのではないかと思う。
- ・議論の中に必ず男性も女性も入っていなければいけないという、そういう考え方も今後浸透していくためには、しっかりと課題を見える化していきながら進めていくというふうに思ったので、私も賛成である。

○今野委員

- ・私も皆様のお話を聞きながら、「困難を抱える方」ではなく「困難を抱える女性」でまとめたほうが分かりやすいのかなと思った。基本目標4のなかに、男性の困難も明確に位置付けられているなど印象を受けた。今までより、男性と女性の困難が見えやすくなったと思った。

○加藤委員

- ・基本目標4のところ、最近、男性の育児休業取得などの広まりもあって、それが故に困難を抱えている方もいらっしゃるということに関連して、支援するというところで、より明確になったかなと思う。

○角張委員

- ・今回初めて参加したが、これまでの資料等をいただき、私なりに考えていたことで、まず男性と女性を分けるのはどうなのだろうということは最初考えたところだった。誰もが安心して自分らしく暮らせる環境を目指していくということではあったが、仙台市男女共同参画推進条例を見た時に「男女平等を目指す取り組みは、女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃」とあって、今回のパブリックコメントを見ると、そこをやはり心配というか、まだそこまでいっていないという方の意見が多かった

んだらうと感じた。なので、仙台市としては、皆さん心配している、まだそこまでいっていないというところをしっかりと取り組んでいきますよと示すのは、すごくよいことではないのかなと思う。

- ・ただ裏面として、女性だけではなくて、男性についても懸念されているということで、両方をしっかりと網羅しているというところもあり、私は「困難を抱える女性」ということでよいのではないかと思っている。

○相澤委員

- ・キャリア相談を受けることが多く、シングルファーザーの方だったり、女性活躍というところで働く女性だったり、パートで働くお母さんたちのキャリア相談も今まさにずっとしている。
- ・男女共同参画と言っても、実際のところ、私の相談に来る方たちは本当に悩んでいる人たちがたくさんいるので、明確に男性、女性と、まだこの段階だなと、常に相談を受けていて、肌感覚として実感していた。女性と男性と分けていただいていたなと思った。

○高浦委員

- ・私も皆さんのご意見どおりで、女性というところにフォーカスするという案でよいと思う。SOGI の多様性にも配慮すべき時代ではあるが、それにかかわらず、ジェンダーとしての女性という、社会的・文化的に構築される性差における女性に対して、きちんと目配せして、その構造がもたらす課題にきちんと向き合っていく、きちんと可視化させるという上では、あえて女性ということにこだわっていくということが大変重要ではないかなと常々思っていた。
- ・また法律の趣旨、名称にも紐づかせていくべきという意見は以前からさせてもらっていたし、その流れから「困難を抱える女性」の案の方がやはりいいかなと。市民の皆さんが20件以上、このタイトルについてご意見されていたので、やはり市民の皆さんのご意見に合わせていくことも重要ではないかと思った。
- ・基本目標4にも男性の抱える困難についての指標なども入れていただいたが、若干本文の方に男性が抱える困難というものへの言及が少ないかなというような気がした。資料4の4ページ、一部文言修正にとどまる。男性の自殺者数への言及が入ったわけだが、男性特有の課題は、ただ男性らしさにご自身が呪縛されていて、精神的に苦しんでいるということのみならず、生活的な困窮ということもきっとあるはず。経済的な、この時世で考えると、かつてとは違って、必ずしも裕福な存在というふうに見ることができない。私たちがアンコンシャス・バイアスみたいなもので、男性像みたいに捉えてしまっているところもあるかもしれないので、もちろん女性との構造的な格差は依然としてあるとは思いますが、男性であっても経済的、生活的困窮に陥る可能性があり得るところを、また現実的にそうであるというところを踏まえたような本文の書きぶりにしていただく必要があるのか、自殺されてしまう背景にはそういったものもあるはずだと思うので、少し書きぶりを分厚くできないかと思った。

○田中会長

- ・まずは、表題についてまとめる。皆さんからのご意見を踏まえ、理想を持って「困難を抱える方」としていたが、「困難を抱える女性への支援と困難に陥らないための基盤づくり」としたいと思うが、いかがか。
(委員 了承)

○田中会長

- ・事務局には、答申案の修正をお願いしたい。

○男女共同参画課

- ・基本目標5を「困難を抱える女性」とした内容に修正し、先ほど意見のあったDVに関する表記、男性の困難に関する言及を事務局にて整理したうえで、答申案をメールにて委員あてお送りしたいと思う。

- 男女共同参画課長
 - ・資料5に基づき説明

- 田中会長
 - ・先ほどの修正については、委員あてメールでお送りいただくが、最終的な答申の確認については、会長にご一任いただきたいが、いかがか。
(委員 了承)
 - ・そのほか、質問などないか。
(意見・質問なし)

4 閉会

- 男女共同参画課企画推進係長
 - ・閉会にあたり、以下の点をご案内申し上げます。
 - ①議事録について、本日の議事録原案を事務局で作成し、議事録署名人に署名をいただいた後、市政情報センター及び仙台市ホームページで公開する。
 - ②答申について、本日ご審議いただいた内容を反映した答申案を事務局より各委員の方にメールにて送付させていただく。最終的な答申の確認を田中会長にいただいた後、3月16日に市長へ答申を行っていただき、答申後には答申の写しを送付させていただく。なお、答申を受け、本市が次期プランの策定した後も、皆様に送付させていただく。
 - ③次回の審議会について、来年度の開催を予定している。日程については別途調整させていただく。
 - ・本日の審議会はこれにて終了とさせていただく。